



佐賀市立金立小学校 学校便り 第 54 号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和 7 年 3 月 2 1 日発行 文責 校長 副島 和久

令和6年度、ありがとうございました！

来年度も金立小学校をよろしくお願いします！



学校 HP もご覧ください

いよいよ、令和6年度も、3月 24 日(月)の修了式を残すのみとなりました。

今年度も、金立小学校の教育活動に絶大なるご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。私自身、最後に勤めさせていただいた学校がこの金立小学校で本当によかったと思っています。

子どもたちの笑顔や明るい声、保護者の皆様の温かい声かけ、地域の方の子どもたちへの支援や見守りなど、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に支えられて金立小学校は今年度も充実した1年を終えることができました。

先日の第 78 回 卒業証書授与式での卒業生(6年生)や在校生の姿を見ながら、この一年間を懐かしく思い起こし、また、子どもたちの成長を実感した次第です。卒業生の心のこもった一言一言に涙し、子どもたちが歌う卒業式の歌や金立小学校の校歌に心震えた方も多かったのではないかと思います。(私自身もその一人でした。) また、来賓とした参加していただいた地域の方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。まさに、この一年間の集大成としての卒業式であったように思います。

さて、金立小学校は、コミュニティ・スクールとして3年を経過し、令和7年度から新たな1年がスタートします。これまでの3年間で築き上げてきた学校と地域の連携・協働の在り方を礎にして、さらに充実を図ることができるようにしていきたいと思っています。

金立町ふれあい運動会は地域との合同開催としての形が確立してきたと思います。また、金立町少年の主張大会や金立郷土かるた大会など、金立町青少年健全育成会や金立まちづくり協議会子ども育成部会が主催し、金立小学校も全面的に協力する形での開催も、これからの学校と地域の連携モデルとして、金立町全体で子どもたちの活躍の場をつくっていただくことができていました。

他にも、ふれあい文化祭、地域のみなさんありがとう集会などの学校行事への保護者の方や地域の方の温かな協力をいただくことができました。また、日々の教育活動においても、毎月の読み聞かせや昔遊び体験、芋づくりやミシンボランティア、かけ算九九のボランティアなど多くの学習活動への支援をいただきました。そして何より、毎朝の登校時には、雨の日も風の日も子どもたちの安全を見守り、明るく声をかけていただきました交通指導員、見守りボランティアの皆様のご苦勞に心から感謝申し上げます。

金立小学校教育振興会においては、各地区の自治会長様のおかけをもちまして、本会にご賛同いただく方からのご支援をいただき、本校児童の教育活動の大きな支えとなっています。

本当にありがとうございました。令和7年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



卒業生の堂々とした証書授与の姿

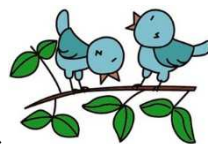


「大空がむかえる朝」を豊かに歌う在校生



金立郷土かるた大会の熱戦の様子

春休み、そして、新学年に向けて



今年度はあと1日しかありませんが、春休み、そして、新しい学年でのスタートに向けて、今、私が気になっていることをいくつかお伝えさせていただきます。ご家庭で、子どもさんともお話しいただき、「我が子はどうかな？」ということをご確認いただけると助かります。そして、内容によっては、春休みの過ごし方や新学年のスタートにおいて、気にかけていただけると嬉しいです。

1 あいさつ、元気よくできていますか？

金立小学校では、元気よくあいさつしてくれる子どもがたくさんいて、気持ちがいいです。遠くに見え、自分から進んで「おはようございます！」とあいさつしてくれる子どもや、学校内でも、来訪者の方に「こんにちは！」と声をかけている子どもなど、本当にすばらしいと思います。でも、中には、上手にあいさつができない人や「おはようございます」と言われても、すうっと通り過ぎていく人もちらほら見かけます。第5回の学校運営協議会で、地域においても同じような話を聞きました。そのときに、「あいさつの基本は家庭にある」というご意見もいただきました。皆様のご家庭ではいかがでしょうか。「あいさつ」「返事」はコミュニケーションの基本です。大人になっても、とても大切なことだと思います。勇気をもって、今より大きな明るい声で、あいさつができるようになるといいですね。3月24日(月)の朝は、交通指導員や見守りボランティアとして、交差点や横断歩道に一年間、立っていただいた地域の方にも、元気よく「おはようございます」「一年間ありがとうございました」「4月からもよろしくお願いします」など、気持ちを伝えられるとよいですね。ご家庭でも子どもさんにお声かけをお願いいたします。



2 黄色い帽子は毎日、きちんとかぶってきていますか？

黄色い帽子を毎日、忘れてくる人や、中には「なくしました」という人もいます。また、手に持って来ている人もいます。この黄色い帽子は、登下校時の皆さんの安全のために、かぶってくるようにしているものです。青パトに乗っているときも、黄色い帽子はよく目立ちます。黄色い帽子が目印となって、運転している人への注意喚起にもなりますので、ぜひ、きちんとかぶって来てほしいと思います。なくした人やボロボロになっている人は、この機会に、ぜひご購入ください。



3 使っている言葉は大丈夫ですか？

学校では、友達を「さん・くん」付けで呼ぶことや相手が温かい気持ちになるほかほか言葉を使うことを子どもたちと約束しています。けれども、友達を呼び捨てにしたり、ほかほか言葉とは真逆のチクチク言葉を発している人を時折、見かけます。また、「死ね」とか「殺すぞ」といったような恐ろしい言葉を使ってしまう人もいました。学校でお願いしていることは、学校の外で友達と遊ぶときや、児童クラブで過ごすとき、また、社会体育などでも同じではないかと思っています。ご家庭ではいかがでしょうか。言葉のことについては、一度、ご家庭でも振り返ってみてはいかがでしょうか。



ALT シャン先生



ありがとうございました！

今年度、金立小学校のALTとして外国語、外国語活動の授業に来ていただいていたシャン先生(アザム ムハマド ズィーシャン先生)の最後の授業が3月6日(木)に行われました。シャン先生はパキスタンのご出身であり、授業では、外国の多様な文化についても紹介していただき、金立小学校の子どもたちも興味深く聞いていたことがとても印象的です。先日、ご紹介しましたセイガー恵美先生といっしょに、とても楽しい外国語の授業を行っていただきました。

この日の勤務時間終了時に、職員室でシャン先生に花束をお贈りして、全職員でお別れをしました。

また、機会がありましたら、ぜひ金立小学校の子どもたちに英語の授業をしていただきたいと思います。本当に、1年間、ありがとうございました。

